



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 三光産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7922 URL <https://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 正和

問合せ先責任者 (役職名) 管理統括本部長 (氏名) 木田 大介

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第2四半期	5,023	△2.4	1	△96.1	122	△46.7	108	△42.5
2023年3月期第2四半期	5,148	8.2	37	△45.4	230	352.5	189	166.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 190百万円(△36.5%) 2023年3月期第2四半期 299百万円(192.3%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	17	58	—	—
2023年3月期第2四半期	30	59	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	％	百万円	％	％	％
2024年3月期第2四半期	11,452		8,177		71.4	
2023年3月期	11,218		8,049		71.7	

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,177百万円 2023年3月期 8,049百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	
2024年3月期	—	0.00	—			
2024年3月期(予想)			—	10.00	10.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
通期	9,877	0.6	90	—	126	183.0	124	△15.7	20	02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	7,378,800株	2023年3月期	7,378,800株
2024年3月期2Q	1,183,373株	2023年3月期	1,185,873株
2024年3月期2Q	6,193,998株	2023年3月期2Q	6,192,927株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)における我が国経済は、経済の正常化を背景に、緩やかな回復基調がみられるものの、ウクライナ情勢の長期化や世界的なインフレ、為替相場の円安などで、原材料やエネルギーコストをはじめとした各種コストが高止まりするなど、景気動向については不安定な状況が続いております。

印刷業界においては、日本国内において印刷需要が減少する中、受注競争による単価の下落、サプライチェーンの混乱、また海外においても現地企業との受注競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、為替市場の急激な変動や原材料高騰等により業績の見通しが立たない中、売上拡大と新基幹システム構築による効率化の推進により収益の改善に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,023百万円(前年同期比97.6%)となりました。

利益面につきましては、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業利益は1百万円(前年同期は37百万円の営業利益)となりました。また、受取配当金及び為替差益の計上により経常利益は122百万円(前年同期は230百万円の経常利益)となり、投資有価証券売却益を58百万円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は108百万円(前年同期は189百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① 日本

パネル関連製品の幅広い営業展開と、シール・ラベル製品の受注確保のため、既存取引先の深耕のほか日用品関連等の新規分野への営業展開を積極的に行い、製造面については、歩留率の改善等による効率化を重点的に進めてまいりました。

主として株式会社アクシストラス、株式会社バンリナーが連結子会社に加わったことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,894百万円(前年同期比102.2%)となりました。また、利益面については、売上原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたものの、セグメント損失は9百万円(前年同期は20百万円のセグメント損失)となりました。

日本セグメントに所属する連結子会社は、株式会社トムズ・クリエイティブ、株式会社アクシストラス及び株式会社バンリナーであります。

② 中国

中国セグメントにつきましては、連結子会社燦光電子(深圳)有限公司について、2019年8月に製造工場を閉鎖し、販売会社として国内の営業部門及び生産提携先との連携を強化し、中国市場における業績の安定化を目指して積極的な営業展開を継続いたしましたものの、当第2四半期連結累計期間の売上高は862百万円(前年同期比85.1%)となり、セグメント利益は28百万円(前年同期は38百万円のセグメント利益)となりました。

なお、中国セグメントに所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子(深圳)有限公司であります。

③ アセアン

アセアンセグメントにつきましては、連結子会社サンコウサンギョウ(ベトナム)CO., LTD. について2023年2月に解散および清算が終了し、現在所属する連結子会社サンコウサンギョウ(マレーシア)SDN. BHD. につきましては、日本国内外からの営業面・製造面の支援を受け、積極的な営業活動及び製造工程の改善等を図っております。また、サンコウサンギョウ(バンコク)CO., LTD. につきましては、日本国内外から営業面の支援を受け、積極的な営業活動の改善等を図っております。

しかしながら、2021年12月にマレーシアにて発生しました洪水被害の影響を大きく受け、電気機器関連のシール・ラベル分野において受注減となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は265百万円(前年同期比81.8%)となりました。利益面においては、製造原価、販売費及び一般管理費の削減に努めましたものの、セグメント損失は25百万円(前年同期は21百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,452百万円となり、前連結会計年度末比233百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が151百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が139百万円、商品及び製品が111百万円、投資その他の資産のその他が115百万円増加いたしました。電子記録債権が254百万円減少したことによるものであります。

負債総額は3,274百万円となり、前連結会計年度末比104百万円増加いたしました。これは、主に未払法人税等が61百万円、その他流動負債が48百万円、長期借入金が175百万円増加いたしました。支払手形及び買掛金が44百万円、短期借入金が161百万円減少したことによるものであります。

また、純資産総額は8,177百万円となり、前連結会計年度末比128百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益108百万円を計上したこと及び為替換算調整勘定が22百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は71.4%(前連結会計年度末は71.7%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、2,150百万円(前年同期比172百万円減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、215百万円(前年同期は486百万円の資金の獲得)となりました。これは税金等調整前四半期純利益184百万円(前年同期は234百万円の税金等調整前四半期純利益)に非資金損益項目や営業活動に係る資産及び負債の増減等を加減算しております。主な加算要因は、減価償却費120百万円、のれん償却額37百万円、売上債権の減少額154百万円等であり、主な減算要因は、棚卸資産の増加額84百万円、仕入債務の減少額121百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、97百万円(前年同期は260百万円の資金の使用)となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却による収入134百万円等であり、主な減少要因は、非連結子会社株式の取得による支出63百万円、有形固定資産の取得による支出100百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、51百万円(前年同期は994百万円の資金の使用)となりました。主な増加要因は長期借入れによる収入300百万円等であり、主な減少要因は、短期借入金の返済による支出248百万円、配当金の支払額62百万円等によるものであります。

(3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について、重要な変更はありません。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当社グループを取り巻く景況感は概ね想定範囲内であることから、現時点では2023年5月15日に公表しました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,016,117	2,167,293
受取手形、売掛金及び契約資産	2,368,119	2,507,127
電子記録債権	937,745	683,712
商品及び製品	791,688	903,569
仕掛品	84,584	87,183
原材料及び貯蔵品	220,392	199,782
その他	299,564	315,208
貸倒引当金	△665	△359
流動資産合計	6,717,547	6,863,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,841,229	2,862,453
減価償却累計額	△1,962,397	△1,996,939
建物及び構築物（純額）	878,832	865,514
機械装置及び運搬具	3,116,224	3,112,298
減価償却累計額	△2,592,842	△2,581,612
機械装置及び運搬具（純額）	523,382	530,685
工具、器具及び備品	443,819	454,838
減価償却累計額	△390,769	△399,755
工具、器具及び備品（純額）	53,050	55,082
土地	1,400,602	1,402,237
リース資産	57,167	57,167
減価償却累計額	△52,313	△54,724
リース資産（純額）	4,854	2,442
建設仮勘定	13,121	27,850
有形固定資産合計	2,873,843	2,883,813
無形固定資産		
のれん	340,458	302,797
ソフトウェア	147,002	127,223
その他	272	22,706
無形固定資産合計	487,734	452,727
投資その他の資産		
その他	1,164,482	1,279,525
貸倒引当金	△25,049	△27,556
投資その他の資産合計	1,139,433	1,251,969
固定資産合計	4,501,011	4,588,509
資産合計	11,218,558	11,452,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,050	1,146,153
電子記録債務	696,612	689,784
短期借入金	622,330	461,210
未払法人税等	30,428	92,165
賞与引当金	93,642	105,454
株式給付引当金	—	6,000
その他	168,576	217,260
流動負債合計	2,802,640	2,718,028
固定負債		
長期借入金	192,790	367,790
退職給付に係る負債	97,516	90,733
繰延税金負債	63,465	84,869
その他	13,089	12,714
固定負債合計	366,860	556,108
負債合計	3,169,500	3,274,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,277,951	2,277,951
利益剰余金	4,402,089	4,447,342
自己株式	△962,943	△960,913
株主資本合計	7,567,846	7,615,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465,234	524,308
為替換算調整勘定	15,976	38,452
その他の包括利益累計額合計	481,211	562,760
純資産合計	8,049,058	8,177,891
負債純資産合計	11,218,558	11,452,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,148,030	5,023,145
売上原価	4,170,274	4,002,620
売上総利益	977,756	1,020,524
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	372,208	373,100
賞与引当金繰入額	58,542	59,603
退職給付費用	24,312	24,473
福利厚生費	74,694	90,234
その他	410,364	471,660
販売費及び一般管理費合計	940,121	1,019,071
営業利益	37,634	1,452
営業外収益		
受取利息	1,419	1,947
受取配当金	16,248	18,996
為替差益	173,546	103,444
その他	6,320	1,709
営業外収益合計	197,535	126,098
営業外費用		
支払利息	4,319	2,417
その他	99	2,148
営業外費用合計	4,419	4,565
経常利益	230,749	122,985
特別利益		
固定資産売却益	8,598	2,976
投資有価証券売却益	—	58,746
特別利益合計	8,598	61,722
特別損失		
固定資産処分損	4,821	280
特別損失合計	4,821	280
税金等調整前四半期純利益	234,526	184,427
法人税、住民税及び事業税	40,872	75,522
法人税等調整額	4,187	△14
法人税等合計	45,060	75,507
四半期純利益	189,466	108,919
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,466	108,919

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	189,466	108,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△84,647	59,074
為替換算調整勘定	195,015	22,475
その他の包括利益合計	110,367	81,549
四半期包括利益	299,834	190,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,834	190,469
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	234,526	184,427
減価償却費	74,419	120,047
のれん償却額	8,661	37,661
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6,355	△6,782
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,641	11,812
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,116	2,201
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△7,435	—
受取利息及び受取配当金	△17,668	△20,944
支払利息	4,319	2,417
為替差損益 (△は益)	132,030	△6,623
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△3,776	△2,696
売上債権の増減額 (△は増加)	△125,838	154,037
棚卸資産の増減額 (△は増加)	14,480	△84,800
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	728,082	7,854
仕入債務の増減額 (△は減少)	△394,606	△121,494
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△58,746
未払金の増減額 (△は減少)	△13,079	38,784
その他	△114,901	△42,144
小計	526,617	215,011
利息及び配当金の受取額	17,668	20,944
利息の支払額	△4,756	△2,189
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△52,825	△17,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	486,704	215,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△103,041	△100,685
有形固定資産の売却による収入	8,015	2,976
投資有価証券の取得による支出	△5,145	△70,432
投資有価証券の売却による収入	—	134,307
保険積立金の解約による収入	2,138	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△154,046	—
非連結子会社株式の取得による支出	—	△63,148
その他	△8,520	△538
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260,598	△97,520
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△873,694	△248,790
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△75,000	△37,330
配当金の支払額	△43,011	△62,662
その他	△2,604	△2,411
財務活動によるキャッシュ・フロー	△994,310	△51,193
現金及び現金同等物に係る換算差額	156,685	83,455
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△611,519	150,681
現金及び現金同等物の期首残高	2,934,748	1,999,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,323,229	2,150,472

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2023年2月14日開催の取締役会決議に基づいて、従業員への帰属意識の醸成と経営参画意識を持たせ、従業員の中長期的な業績向上や株価上昇に対する意欲や士気の高揚、当社の企業価値増大への貢献意識を高めることを目的とした従業員インセンティブ・プランとして「株式付与E S O P信託」を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が当社従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、あらかじめ定める株式交付規程に基づき、信託期間中の業績達成率等に応じた当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭（以下「当社株式等」という）を、在職時に交付及び給付（以下「交付等」という）するものであります。

本制度の導入により、従業員は当社株式の株価上昇による経済的な利益を収受することができるため、株価を意識した従業員の業務遂行を促すとともに、従業員の勤務意欲を高める効果が期待できます。

(2) 会計処理の方法

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 2015年3月26日）を適用しております。

(3) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末33,626千円、98,900株、当第2四半期連結会計期間末33,626千円、98,900株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,809,540	1,013,341	325,148	5,148,030
セグメント間の 内部売上高又は振替高	728,134	633,584	4,032	1,365,750
計	4,537,674	1,646,925	329,180	6,513,780
セグメント利益又は損失(△)	△20,892	38,681	21,343	39,132

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	39,132
セグメント間取引消去	△1,498
四半期連結損益計算書の営業利益	37,634

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,894,873	862,450	265,821	5,023,145
セグメント間の 内部売上高又は振替高	525,907	359,467	2,579	887,954
計	4,420,780	1,221,918	268,400	5,911,099
セグメント利益又は損失(△)	△9,696	28,972	△25,303	△6,027

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△6,027
セグメント間取引消去	7,479
四半期連結損益計算書の営業利益	1,452

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。